

ふくやま 市議会だより

ばらのまち福山



FUKUYAMA



今回の定例会は

3月 6月

No.72

12月 9月

5月臨時会 6月定例会

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会

発行日 / 2019年(令和元年)8月1日

〒720-8501 福山市東桜町3番5号

TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●

愛橋付近から見た
道三川の風景
(道三町)

5月臨時会・6月定例会の概要	2
議案の審議結果	3
一般質問	4～9
委員会の活動	10
政務活動費の執行状況	11
議会報告会の案内	12

5月臨時会



熊谷寿人副議長

副議長の略歴

熊谷 寿人 副議長

平成12年から現在までの間
監査委員、議会運営委員会委員
長、建設水道常任委員会委員
長、行財政改革特別委員会
委員長などを歴任
水呑町、64歳

5月13日、臨時会を開き、副議長の辞職に伴う後任の選挙を行い、熊谷寿人議員を選出しました。
また、議会選出の監査委員の選任同意や、常任委員会と特別委員会の委員の一部交代、広島県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行いました。
このほか、損害賠償の額を定めること及び和解の専決処分等の報告があり、福山市国民健康保険条例の一部改正など2件の市長専決処分を承認、福山市税条例の一部改正を原案のとおり可決しました。

議会選出監査委員の略歴

中安加代子 委員

平成16年から現在までの間
文教経済常任委員会委員長、
行財政改革特別委員会委員長
などを歴任
南蔵王町、67歳

西本章 委員

平成16年から現在までの間
民生福祉常任委員会委員長、
行財政改革特別委員会副委員
長などを歴任
引野町、66歳

6月定例会



令和元年6月定例会（6月17日～7月2日／会期16日間）の概要は次のとおりです。

17日 1件の専決処分等の報告、平成30年度一般会計継続費など9件の予算に関する報告
福山市土地開発公社などの事業経営状況の報告の後、市長が市政の状況と11議案の提案理由を説明

議案のうち財産区特別会計補正予算案1件については、質疑の後、委員会への付託（委

員会での審査）を省略して採決し、原案のとおり可決

請願1件を、紹介議員の説明の後、総務委員会に付託

24日～27日 議案や市政全般について20人の議員が一般質問

27日質問終了後 市長が1件の追加議案の提案理由を説明

11議案を所管の常任委員会に付託

28日 4常任委員会でそれぞれ議案等を審査

2日 議案等を審査した4常任委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれ採決し、11議案を原案どおり可決、継続分を含む請願2件は不採択

人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めることについて同意

議員提出の意見書案2件と決議案1件を可決



この定例会で決まったこと

(一部をお知らせします)

【市長提出議案】

■補正予算

○ 平成30年7月豪雨により被災した駅家町向永谷地区所在グラウンド等の法面整地工事などの予算

運営に関する基準を定めます。(児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定)

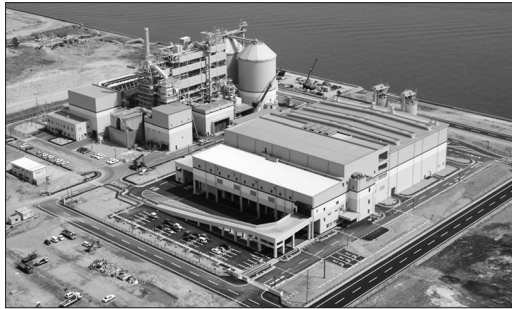
■条例

○ 東村小学校と今津小学校、服部小学校と駅家東小学校をそれぞれ再編し、来年4月に今津町に遺芳丘いほうがおか小学校を、駅家町に駅家北小学校を設置するため学校の名称、位置を定めるなど改正します。(市立学校設置条例の一部改正)

■その他

○ ごみ固形燃料工場プラント設備の大規模改修工事を実施し、施設の延命化を図ります。

○ 指定障がい児通所支援事業に対する指定、指導の権限が中核市に移譲されたため、指定通所支援事業等の人員、設備及び



ごみ固形燃料工場(右手前)

令和元年6月定例会 議案の審議結果一覧

		○は賛成、×は反対							
付託委員会	議案名	水曜会 (13人)	公明党 (7人)	市連 (4人)	民共 (4人)	日本 誠友会 (4人)	新政 クラブ (3人)	無所属 (3人)	採決結果
総務	国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
	2019年度国民健康保険税の引き下げ等を求める要望(請願第1号)	×	×	×	○	×	×	×	不採択
	2019年度国民健康保険税の引き下げ等を求める要望(請願第2号)	×	×	×	○	×	×	×	不採択
民生福祉	児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	可決
	子ども・子育て支援法施行条例及び市立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
文教経済	市立学校設置条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
	ごみ固形燃料工場プラント設備改修工事請負契約締結	○	○	○	×	○	○	○	可決
建設水道	手数料条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
	備後圏都市計画事業川南土地区画整理事業施行規程の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
	漁港管理事務の事務委託に関する規約の変更の協議	○	○	○	○	○	○	○	可決
	港湾管理事務の事務委託に関する規約の変更の協議	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会付託省略	令和元年度財産区特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めること	○	○	○	×	○	○	○	同意
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための2020年度政府予算に係る意見書案	○	○	○	○	○	○	○	可決
	地方財政の充実強化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	可決
	天皇陛下御即位を祝す賀詞決議案	○	○	○	○	○	○	○	可決

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、20人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
（ ）内には、各党派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	5人	330分
公明党	5人	210分
市民連合	2人	150分
日本共産党	2人	150分
誠友会	3人	150分
新政クラブ	1人	70分
無所属	2人	各30分

*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



五阿彌寛之
水曜会
(60分)

無人航空機ドローンの活用は

問 大規模災害時の情報収集や広域的な被災状況の把握に向けて、有効な手段となるドローンを活用しては。

答 ドローンは、災害現場で人が立ち入れないような危険な場所の状況確認や捜索活動などに活用

されている。

本市は現在5つの事業者と協定を結び、広範囲な大規模災害時にはエリアごとに役割を分担し被害状況の把握を行うことになっている。

今後、リアルタイムでの映像送信が可能なドローンの導入や捜索活動、物資輸送など一層の活用を検討していく。

なお、本市もドローン1機を保有しており、現在は工事の進捗管理業務などに使用している。



高田健司
水曜会
(60分)

持続可能な地域コミュニティの形成に向けて

問 自治会、町内会等を中心に在り方を検討し、今年度はその取り組みを実施するが、地域コミュニティの再構築に向けた具体的な課題認識等は。

答 有識者会議の取りまとめでは、本市は全国的に見ても先進的

な地域づくりが地域住民により主体的に展開されている一方、課題として、役員の多忙化や同じ地域での類似組織の混在、現役世代の参画が難しいこと等による担い手不足等が挙げられている。

今年度は、まちづくり推進委員会や自治会等の地域運営組織の再構築や活動のスリム化、見直しに取組むモデル事業を市内の2学区で行い、行政から地域への依頼事項の見直しや地域と行政の役割分担の整理をする中で、地域づくりに意欲の持てる社会の実現に向け取り組む。



連石武則
水曜会
(70分)

外国人人材の受け入れは

問 我が国の外国人労働者数が過去最高を更新した。本市の現状と受け入れ環境づくりは。

答 昨年10月末現在のハローワーク福山管内の外国人労働者は5402人で、製造業へ3299人が従事し全体の61.1%を占め次いで卸・小売業が10.1%、建

設業が9.4%となっている。

本市では外国人市民に関する課題等を把握し施策に反映するため多文化共生のための地域連携懇話会を設置し、技能実習生の受け入れ企業、支援団体、学区自治会連合会等と意見交換を行っている。

受け入れ環境づくりでは、日本語教室や出前講座を行っており、引き続き支援団体等と連携し生活面の支援に取り組む。また、外国人が日本で円滑に就労するためには送り出し機関との連携も重要であり、今後連携の在り方についても研究していく。

* 6月定例会の一般質問の録画放送を見る場合
福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。



石口 智志
水曜会
(70分)

**常金中学校と新市中央
中学校の再編は**

問 ①開校までのスケジュールは。

②常金中学校跡地に常金丸小学校を移転改築する方針が示されている。移転先は浸水想定区域に含まれるが、防災対策は。また、建設に当たり、公共施設の

集約化や将来の過疎化、高齢化に配慮した施設建設の考えは。

答 ①開校準備委員会での協議や教育課程の編成等、準備に2年間は必要と考える。保護者や地域の皆さまに理解いただけるよう具体を持って説明するため、再編後の教育内容の検討を始めている。②洪水時に備え敷地のかさ上げも含め検討する。また、校舎の設計に当たり、地域の皆さまが子どもたちと触れ合ったり、地域の同士で交流できるような機能も検討していく。



喜田 紘平
水曜会
(70分)

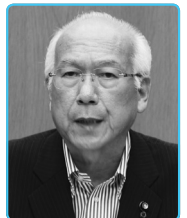
これからのまちづくりへの提言

問 ①歩きたばこ防止施策は。

②公共施設へのフリーWi-Fi導入を進めるべきでは。
③電動キックボードの導入による交通機能強化の考えは。
④引きこもり支援の課題等は。
⑤子どもへの情報モラル教育は。

答 ①課題を整理し、今年度中

の条例改正に向け取り組む。
②災害時の情報伝達、情報収集においても有効な手段の一つであり導入拡大に向けて検討する。
③新たな交通インフラとしての可能性も期待でき、実証実験の実施に向け効果的なものとなるよう支援する。
④一元的に相談を受ける窓口がないことが課題で、早急に設置に向け検討する。今後は一層関係機関で情報共有し、連携の強化を図る。
⑤情報に対する責任等を発達段階に応じて身に付けさせていくことが必要である。



宮地 徹三
公明党
(50分)

子どもの安心・安全対策は

問 ①大津市での交通事故を受けた本市の取り組みは。

②地域を守る社会的抑止力向上は。

答 ①市内の保育所等の全就学前施設の散歩ルートの安全性を確認するとともに、警察から専門的な指導を受け改善につなげている。
②防犯カメラの設置により、市内



塚本 裕三
公明党
(40分)

**公共施設等サービス再構築
基本方針は**

問 公共施設等を通して提供する公共サービスを将来にわたって適切に提供するための取り組みは。

答 公共施設整備に当たり公共施設等の適正配置、保有総量の縮小、効率的、効果的な活用と計画的

の刑法犯認知件数が5年前に比べ30%減少した。また、交通安全や防犯に関するモデル地域を指定し独自の取り組み等を行っている。

観光振興の取り組みは

問 南部地域の観光資源整備の背景と魅力発信の取り組みは。

答 グリーンラインは観光道路として整備され、今後もSNS等を通じ、魅力発信に努める。ファミリーパークはレクリエーション施設として開設し、今後も市民ニーズを踏まえ維持管理を進める。

保全、長寿命化により、必要な公共サービスの安定的な提供に取り組んでいる。来年度末を目途に各施設の耐用年数や老朽度合いを踏まえた個別施設計画を策定する予定。

不登校児童生徒への取り組みは

問 不登校児童生徒への取り組みの今後の方向性は。

答 きらりルームのほか、特認校の設置、適応指導教室の拡充、民間施設であるフリースクール等との連携等、多様で適切な学びの場の確保に引き続き努める。

*特認校：通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認める学校。本市では、不登校等児童生徒の実態に配慮した教育課程を実施するもの。



生田 政代
公明党
(40分)

中高年の引きこもり対策は

問 国は、半年以上にわたり家族以外とほとんど交流せず自宅にいたる40歳から64歳の引きこもりの人数を全国で61万3千人と推計した。国の推計を受けた本市の推計と支援の在り方は。

答 おおむね2千人程度と見込まれる。保健所等での相談内容に



奥 陽治
公明党
(40分)

中小企業への支援策は

問 中小企業支援から見た今年度の税制改正の受け止めは。

答 事業継承や事業継続、生産性向上等、中小企業者が抱える経営課題に適切に対応したもので、これらの周知を図り、より多くの事業者を利用され、中小企業者の活力向上につながるよう努める。

応じて支援を行っているが、ワンストップで一元的に相談を受ける窓口の早急な設置に向け検討する。

高齢者の移動手段の確保策は

問 服部学区での乗り合いタクシー導入に係る経緯は。

答 学区を運行するバス路線が運行形態の見直し要件に該当したため、乗り合いタクシー導入に向け運営委員会を立ち上げた。実証実験を行い、乗り合いタクシーが有効な移動手段になり得ると考え今後、実用化に向けて検討する。

地域包括ケアシステムの今後は

問 増加が見込まれる認知症高齢者等への支援は。

答 認知症高齢者の状況等を踏まえ、認知症地域支援推進員の増員を検討する。また、認知症が疑われる人の相談を受けて早期診断等につなぐ役割を担う認知症初期集中支援チームが、病院の受診に向けた調整等を行っている。その他、認知症の人や家族を見守る応援者を増やすための認知症サポートー養成講座等に取り組んでいる。



宮本 宏樹
公明党
(40分)

マイナンバーカードの活用は

問 ①普及には利活用の推進が必要だが、今後の取り組みは。
②マイナンバーカードを健康保険証として使用することで、市民サービスはどう向上するのか。

答 ①マイナンバーカードを活用した消費活性化策や、医療機関で健康保険証としての運用を開始



法木 昭一
市民連合
(7分)

今年の福山夏まつりの考え方は

問 今年度から2日間の開催となる福山夏まつりは、どのような考え方で取り組むのか。

答 福山夏まつりは、お盆と重なるため期間の短縮を望む声もあり、今年度は2日間で開催する。初日の8月14日は、いろは丸YOSAKOIと二上りおどり大会

することなどを盛り込んだ方針が国から示された。

本市でも、マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付や電子申請手続きの拡充等に取り組んでいる。

②保険が国民健康保険から社会保険に変わっても医療機関や薬局での受診等が可能となり、窓口支払いが一定額までとなる限度額適用認定証等の提示も不要となる。その他にも、マイナポータルから医療費情報等を見ることが可能となる。

を、15日はあしだ川花火大会を開催する。いろは丸YOSAKOIと二上りおどり大会は、福山城天守閣前広場から新たに駅前大通りへ開会セレモニーや演舞の会場を移すこととした。

また、あしだ川花火大会は、昨年度「全国行ってよかった花火大会ランキング」で7位となるなど、知名度も向上しており、西日本有数の花火大会となるよう、演

出のさらなる工夫等に取り組む。





池上 文夫
市民連合
(75分)

福山市に児童相談所の設置を

問 国は今回の法改正に伴い中核市での児童相談所設置の促進を挙げている。県東部こども家庭センターを取り巻く児童虐待の現状を見たとき、中核市である福山市として児童相談所の設置が望まれるが、考えは。

答 児童相談所の設置には、一時保護所等の施設整備や運営費に要する経費など、財源の確保や、児童福祉司等の専門的な人材の確保の課題がある。
2016年の児童福祉法改正により、児童虐待に対する体制と専門性の強化を図るため「子ども家庭総合支援拠点」の設置が促されている。本市では、まずは「子ども家庭総合支援拠点」の設置を検討している。

児童相談所の設置は、対応力の強化を十分図る中で、県と連携し検討していく。



河村 晃子
日本共産党
(75分)

障がい者施策の充実を

問 ①音声による119番通報が困難な聴覚や言語機能に障がいのある方が円滑に消防へ通報できるNet119緊急通報システムの早急な導入を求める。
②加齢性難聴者の補聴器購入の補助制度創設を国に要望することを求める。

答 ③集団補聴装置の公共施設での整備状況と、拡充の取り組みは。

答 ①会話が困難な人の通報手段として有効であり、その効果的な運用について現在協議中である。
②軽度、中等度の難聴者の補聴器購入について、補装具費の支給制度を充実して対応しよう、全国市長会において国へ要望している。
③すこやかセンター、かななべ市民交流センターに整備しており、リーダーローズと総合体育館には今年度中に整備する予定である。今後も整備について検討していく。



土屋 知紀
日本共産党
(75分)

エフピコRiMの今後は

問 当館を取得以後、約11億円の税金を支出している。解体、売却を検討するべきでは。

答 建築後25年以上が経過し、躯体や設備の老朽化から施設の在り方の検討が必要である。再生手法に関する調査結果を踏まえ、福山駅前再生の取り組みと連動して



平松 正人
誠友会
(40分)

高齢者福祉施策は

問 ①介護人材の確保策は。
②改正出入国管理法に関わる外国人介護職員受け入れへの対応は。
③認知症地域支援推進員は地域とどう連携するのか。

答 ①就職面談会や介護職未経験者職業セミナーの開催、小・中・

機能の検討や費用対効果の比較等を行い、今年度中に方向性を出す。

学校統廃合計画は

問 内海町で(仮称)千年小中一貫教育校の住民説明会が開催され、多くの反対意見が出された。住民合意の得られない現計画の白紙撤回を求める。

答 引き続き、(仮称)千年小中一貫教育校の整備に向けて、保護者や地域の皆さまに対して教育委員会の考えを説明し、意見交換を行う中で取り組んでいく。

高等学校への出張授業等を行っている。また、備後圏域の市町や市外の介護職員養成機関と連携して採用機会の拡大を図るなど、多様な人材の確保に取り組んでいる。
②県と協力して事業者向けの受け入れセミナーを開催するとともに外国人雇用をめざす事業者への各種支援策の情報提供に努める。
③認知症の人を地域で支える体制づくりを進めるために、認知症の初期対応の大切さや、認知症初期集中支援チームの活動の周知、啓発を行うほか、認知症カフェの開設と運営の支援等を行っている。

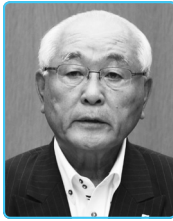


能宗 正洋
誠友会
(60分)

市街化調整区域の活性化策は

問 移住を促進するため、農地の権利取得の下限面積のさらなる緩和をどう考えるか。

答 本市では、平成23年9月に市内全域の下限面積を10アールに引き下げた。さらなる引き下げにより、移住促進による空き家の解消と地域活性化につながるほか、



徳山 威雄
誠友会
(50分)

エフピコRiMを子供のための施設に

問 エフピコRiMに「子供科学館」「水族館」等の教育施設を開設し、子供のための施設に特化してはどうか。

答 本市では、少子化時代にあっても、子ども・子育て支援に注力してきた。

耕作放棄地の発生防止にも一定の効果があると考えられる。

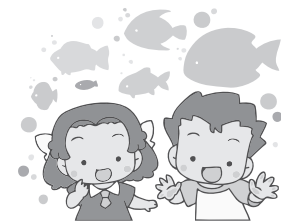
イエナプラン教育は

問 再編後の常石小学校を活用して設置するイエナプラン教育校の特色は。

答 1〜3年生、4〜6年生までの異年齢のグループ編成とし、通学区域は市内全域で、市外、県外からの児童の受け入れも考えている。豊富な地域資源が活用できる環境の中で、異年齢グループによる対話や協働学習に取り組む。

エフピコRiMでも、ネウボラ相談窓口「あのねりム」や、えほんの国等から成る「こどもの国」を運営してきたことから、駅前に子どものための施設を集約することも一案であると考えている。

福山駅前再生の取り組みと連動する中で、駅前にあるべき機能も含めた議論を重ね、費用対効果の検討等を行い、今年度中には方向性を出す。



エフピコRiMでも、ネウボラ相談窓口「あのねりム」や、えほんの国等から成る「こどもの国」を運営してきたことから、駅前に子どものための施設を集約することも一案であると考えている。



大塚 忠司
新政クラブ
(70分)

※スーパーシティ構想への挑戦は

問 ①構想への挑戦のため、どのように取り組むのか。
②ビッグデータの活用策は。

答 ①自動走行やオンデマンド交通等の実証実験などの取り組みを踏まえ、先端技術を活用した都市づくりの基本戦略を策定する。



岡崎 正淳
無所属
(30分)

立地適正化計画は

問 ①今後の公共交通の在り方への心配が大きい中、計画の推進に当たり、地域公共交通網形成計画との連動は。

②居住誘導区域の設定が想定される平野部は、津波や水害のハザードエリアに該当することが多い。地域防災計画との整合は。

この戦略に基づき重点分野を絞り込み、さらに実証実験を重ね、未来の都市像を練り上げる。

②自動車の走行データを活用したマップ化では、車載器の収集データから運転操作を分析し危険運転箇所を地図上に表して、住民が安全に暮らせる環境形成に役立てる。

また、将来の移住につながる交流人口や関係人口の増加を目的に包括協定締結企業が保有するデータから消費行動を分析し、ターゲットを絞り込み情報を戦略的に発信し、本市の施策効果をより一層高める。

③地域別カルテを各学区・ブロックでの協働のまちづくりに活用すべきと考えるが。

答 ①人口推計データ等を活用し策定する予定の地域公共交通網形成計画の実施計画をベースに、持続可能なコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりをめざす。
②地域特性に応じたハード・ソフト両面の防災対策を講じるべきとの課題意識を持って取り組む。
③地域まちづくり計画に即した課題解決に役立つもので、これからの地域づくりの議論に生かす。

※スーパーシティ：人口知能（AI）やビッグデータを活用し、革新的な暮らしやすさを実現する最先端都市。
※コンパクト・プラス・ネットワーク：必要な都市機能と質の高いサービスを効率的に提供できるよう、必要なサービス機能を一定地域に集約化し、居住地域と交通や情報通信などのネットワークでつなぐ国土づくりのこと。

市議会だよりの音声版CD 点字版冊子のご案内

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容をデジタイズ録音したCD、点字に翻訳した冊子を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。☎ 084-928-1136

※デジタイズ録音したCDを聞くためには、専用の再生機、または再生用ソフトの入ったパソコンが必要です。一般に市販されているCDプレイヤーでは再生できません。



問 市長は、参院選広島県選挙区で、自民党の溝手顕正氏と立憲民主党と国民民主党の推薦で無所属の森本真治氏の現職2人の支援を表明し信頼と実績を理由に挙げた。また、現職2人

市長は森本参議院議員選挙区立候補予定者の支援理由を明確にすべきでは



いしおか ひろゆき
石岡 久彌
無所属
(30分)

答 現職のお二人には、備後地域、福山地域の声を吸い上げ国政に反映し、地域の発展に貢献を踏まえ、支持、支援するとう、政治家個人としての立場を表明したものである。

について、地域の声を吸い上げ国政に反映し、地域の発展に貢献したと述べたが具体的に何か。市民は、市長としての森本氏への支援表明が乗り合い体制からきているのではと嘆き、不信感を増大させているが。

9月定例会の開催予定

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4	5	6	7
		★本会議 (市長提案説明など)			議会運営委員会	
8	9	10	11	12	13	14
	★本会議 (一般質問)	★本会議 (一般質問)	★本会議 (一般質問)	★本会議 (一般質問)	常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
		予算特別委員会	予算特別委員会			
22	23	24	25	26	27	28
		議会運営委員会 ★本会議 (委員長報告 討論 採決など)	企業会計決算 特別委員会	企業会計決算 特別委員会	企業会計決算 特別委員会	
29	30	10/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
	一般・特別会計 決算特別委員会	一般・特別会計 決算特別委員会	一般・特別会計 決算特別委員会	一般・特別会計 決算特別委員会	一般・特別会計 決算特別委員会	

- 本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。(ただし、9月24日の本会議は午後1時からのお予定です。)
- ★印の日は、本会議の生中継をインターネット配信します。
- 詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。☎084-928-1136

傍聴のご案内

本会議や委員会は公開していますので、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、会議の当日、本会議は議会棟5階の傍聴受付で、委員会は議会棟2階の議会事務局庶務課で受け付けし、傍聴券の交付を受けてください。傍聴券は受け付け順に交付します。

「9月定例会の開催予定」は左の表のとおりです。



本会議場の傍聴席



委員会の活動(4月～6月)

4月から6月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

◆常任委員会

	開催日	調査・審査項目		開催日	調査・審査項目
総務	6/7	<ul style="list-style-type: none"> ふくやまグローバル人材育成事業（官民協働留学支援事業） 持続可能な地域コミュニティーの形成に向けた取り組み 旅券センターの移転 市立大学2018年度学部卒業生の就職等の状況 など 	文教経済	6/7	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設（エフピコR i M）官民連携推進事業 （仮称）鞆町町並み保存拠点施設の整備 6次産業化の推進 次期ごみ処理施設の整備 福山100NEN教育4th yearの取り組み など
	6/28	<ul style="list-style-type: none"> 付託された議案（1件）と請願（2件）の審査 本庁舎等の敷地内禁煙 		6/24	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援法施行条例及び市立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正
民生福祉	6/7	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護 障がい者等の相談支援の実施状況 高齢者虐待相談の状況 第二期子ども・子育て支援事業計画の策定 感染症対策 など 	建設水道	6/7	<ul style="list-style-type: none"> 福山S Aスマートインターチェンジの利用状況および整備効果 中央公園公募設置管理制度（パークP F I）導入に関わる実証実験 手城川流域における浸水対策施設整備事業に係る委託協定締結 産学官共同研究 など
	6/24	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援法施行条例及び市立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正 		6/28	<ul style="list-style-type: none"> 付託された議案（2件）の審査
	6/28	<ul style="list-style-type: none"> 付託された議案（2件）の審査 高齢者保健福祉計画2018に基づく施設整備 		6/28	<ul style="list-style-type: none"> 付託された議案（6件）の審査 水道事業の広域連携の具体化に向けた検討状況 など

◆特別委員会

	開催日	調査項目
地方創生調査	4/19	・人口減少対策

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。
 なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

委員会委員の異動

5月27日付で次のとおり変更がありました。

■議会運営委員会

辞任 中安加代子委員
 選任 塚本 裕三委員

委員長の交代

5月13日付で次の委員会の委員長が代わりました。

■民生福祉委員会

委員長 大塚 忠司

■行財政改革特別委員会

委員長 今岡 芳徳

■都市整備特別委員会

委員長 高田 健司

■地方創生調査特別委員会

委員長 宮地 徹三





政務活動費の収支報告書等を公開しています

政務活動費は、地方自治法と条例に基づき、市政の調査研究その他の活動に充てるため、議会の会派に交付されているものです。

2018年度（平成30年度）に各会派に交付された政務活動費の執行状況は、次のとおりです。

政務活動費について、本市では議会改革の一環として、使途の透明性を高め、各会派の活動内容をより明らかにするため、収支報告書および実績報告書に加えて支出書と領収書（1円以上）、市外視察などの報告書の添付を義務付けており、その収支報告書等を公開しています。

これらの書類は、ホームページで見ることができます。

また、市役所3階の市政情報室または議会事務局に申請していただければ、誰でもすぐに閲覧でき有料でコピーもできます。

ご不明な点がございましたら、議会事務局庶務課（☎084-928-1123）までお問い合わせください。



2018年度(平成30年度) 政務活動費決算内訳

(単位：円)

会派名 項目	水曜会 (4月~10月14人) (11月~3月13人)	公明党 (7人)	誠友会 (4月~5月 5人) (6月~3月 4人)	市民連合 (4人)	日本共産党 市議団 (4人)	新政クラブ (3人)	高志会 (1人)	福山維新の会 (1人)	五 薫 会 (6月~3月 1人)
政務活動費 交付額①	21,190,000	10,920,000	6,500,000	6,240,000	6,240,000	4,680,000	1,560,000	1,560,000	1,300,000
1 調査研究費	3,093,380	284,790	645,970	334,100	115,550	240,740	0	0	0
2 研修費	1,701,030	1,307,410	972,146	405,808	38,206	2,976,952	413,130	0	186,220
3 資料作成費	0	14,612	0	0	56,500	0	0	0	0
4 資料購入費	1,999,267	875,992	562,491	472,256	633,963	417,324	120,160	0	0
5 広報費	7,996,645	719,211	1,681,988	4,040,658	1,042,569	0	37,800	1,559,996	0
6 広聴費	0	0	0	0	32,087	0	0	0	0
7 要請・陳情活動費	0	0	0	0	60,420	0	0	0	0
8 会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 人件費	0	0	0	0	1,795,409	0	0	0	0
10 事務所費	5,479,248	2,304,366	1,383,876	844,190	1,464,113	538,035	111,418	0	0
支出合計②	20,269,570	5,506,381	5,246,471	6,097,012	5,238,817	4,173,051	682,508	1,559,996	186,220
返還額(①-②)	920,430	5,413,619	1,253,529	142,988	1,001,183	506,949	877,492	4	1,113,780

— 支出項目の説明 —

1 調査研究費

会派が行う、市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費

2 研修費

会派が研修会を開催するために要する経費及び他の団体等が開催する研修会に会派として参加するために要する経費

3 資料作成費

会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

4 資料購入費

会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

5 広報費

会派が、その活動及び市政について市民に報告するために要する経費

6 広聴費

会派が行う、市民からの市政及び会派の活動に対する要望及び意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費

7 要請・陳情活動費

会派が要請及び陳情活動を行うために要する経費

8 会議費

会派が各種会議を開催するために要する経費及び他の団体等が開催する各種会議に会派として参加するために要する経費

9 人件費

会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費

10 事務所費

会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費

議会報告会を開催します

市議会では、次の日程で議会報告会を開催します。
議員が議会の活動について報告するとともに、意見交換では今後の市政に生かしていくため皆さまからのご意見をお伺いします。

どの会場でもご参加いただけます。
多くの皆さまのご参加をお待ちしています。
※手話通訳、要約筆記があります。



- 報告会の内容**
- ①市の取り組み
 - ②常任委員会からの報告
 - ③意見交換

開催日程

月	日	曜日	時間	会場	担当班(常任委員会)
8	18	日	10:30~12:00	ぬまくま市民交流センター 市民交流室	総務
	19	月	19:00~20:30	西部市民センター 大会議室	民生福祉
	20	火	19:00~20:30	神辺文化会館 小ホール	民生福祉
	22	木	19:00~20:30	しんいち市民交流センター コミュニティホール	建設水道
	23	金	19:00~20:30	東部市民センター 大ホール	総務
	25	日	10:30~12:00	福山市役所本庁舎 3階大会議室	建設水道
	26	月	19:00~20:30	福山市役所本庁舎 3階大会議室	文教経済
	27	火	19:00~20:30	人権交流センター ホール	文教経済

班の構成

(◎班長 ○副班長)

担当班	名前					
総務	◎連石 武則 宮地 徹三	○宮地 毅 法木 昭一	藤原 平 稲葉誠一郎	今岡 芳徳 小林 茂裕	高木 武志	
民生福祉	◎大塚 忠司 河村 晃子	○喜田 紘平 西本 章	奥 陽治 中安加代子	平松 正人 高田 健司	石岡 久彌 熊谷 寿人	
文教経済	◎生田 政代 土屋 知紀	○石口 智志 池上 文夫	八杉 光乗 徳山 威雄	門田 雅彦 小川 眞和	榊原 則男	
建設水道	◎大田 祐介 塚本 裕三	○宮本 宏樹 瀬良 和彦	能宗 正洋 川崎 卓志	岡崎 正淳 村井 明美	五阿彌寛之	

ふくやま市議会だより編集委員会



※委員長・副委員長が代わりしました。

委員長 熊谷 寿人
副委員長 明美 政代
委員 池上 文夫
村井 明美
生田 政代
石口 智志
平松 正人
宮地 毅

編集後記

昨年7月の豪雨は今も爪痕を残し、猛暑や大雨が心配される季節となりました。市議会においても、災害復旧や防災対策の議論が深まりました。

市議会だよりは、この号から新しい委員長、副委員長のもとで編集に取り組んでいます。

今後も、編集委員一同、分かりやすく親しみやすい紙面になるよう努めてまいります。皆さまのご意見、ご要望もぜひお聞かせください。

(村井明美)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

